

新春特別企画 みんなが主役！魅力と活力あふれるまちづくり



※写真撮影用にマスクを外しています。

徳島市では、まちなかのにぎわい創出に向け、中心市街地活性化基本計画の策定など、さまざまな取り組みを進めています。まちづくりと関わりが深い方々をお招きし、市長とそれぞれの思いを語り合っていました。

中心市街地の課題

(市長) 少子高齢化やシャッター街化などの影響で、まちなかのにぎわいが少なくなったと感じています。

まちづくりは行政だけではできません。市民一人一人が「自分にできることを」「まちを楽しむためにイベントを」といった感じで当事者としてご参加いただければと思っています。官民一体となった取り組みを進めていきたいです。

(寺内) 徳島商工会議所では、経営支援を通じて商工業の振興や地域経済の発展に関わっており、そういう面からも協力したいと思っています。

努力や工夫が必要ですが、子どもたちの将来のためにも、まちに明かりが灯り、活性化されてよかったとできるだけ早く感じてもらいたいのは、皆さん同じだと思います。

(市長) にぎわい創出のためには、現在、5つの課題「都市のランドマークの喪失(人が集まる中心施設がない)」「商業需要を底上げする集客要素の必要性(郊外に消費が流れている)」「面的な人の広がり欠如(活動がバラバラでつながりがない)」「まちなか労働人口の減少」「歩いて暮らせる環境の不十分さ」があると考えています。

(佐々木) それらの課題をどのように解決していくのかに加えて、目指すまちの姿になるように、まちづくりを推進していくことも求められているのではないのでしょうか。

コロナ禍で多くの方が遠出を控えているので、休日のお出かけスポットなどの地元の情報をうまくPRしていくことで、市民が魅力を再発見するいい機会になると思います。



▲中心市街地活性化協議会

(市長) そうですね。課題解決や目指すまちの実現を考えると、これからの取り組みとしては、現在策定中の中心市街地活性化基本計画に定める3つの基本方針「街へ行きたくなる“場面”づくり」「街を巡りたくなる“動線”づくり」「街に住みたくなる“空間”づくり」が軸になってくると思います。

街へ行きたくなる“場面”づくり

(市長) 現在、県市協調の新ホールの整備、アミコビルへのテナント誘致や県青少年センターの機能移転などが進んでいます。人が訪れたい場所の整備を進めています。

(寺内) 活気のあるところには自然と人が集まてきます。このまちに欠かせない阿波おどりを中



▲阿波おどり

心にしたイベントを考えることも重要だと思います。お囃子の音色は何ものにも代え難く、心の温もりや元気を生むと思います。

(堀田) 徳島青年会議所では、阿波・徳島を良くするために何ができるのかをベースに、空き家などの活用されていない「施設・建物などの資源を持つ人」「資源に価値を持たせ活用する人」「そこに関わってくる人」を対象とした事業を考えました。

目標は地域に関わる人を増やすことです。そのためには「貢献したい」という気持ちと「活躍できている」という実感が欠かせないと考え、昨年9月に、空き家の活用をテーマとした市民対象のイベント「阿波良場(あわよくば)」をアミコビルで開催しました。まちづくりに自ら携わりたいという気持ちを育てていければと思います。



▲阿波良場の協力者

(鈴江) 徳島都市開発株式会社では、駅前の集客の鍵であるアミコビルの再生には百貨店が必要だという市民の皆さんからのご要望のもと誘致活動を進めてきました。

昨年10月に高松三越が先行出店し、今春「三越徳島」として2階と5階であらためてオープンの予定です。このほか、さまざまな催事も開催しており、秋にはアミコビル全館のグランドオープンが予定されているなど、にぎわいが戻りつつあることを実感しています。



▲アミコビル

まちづくり会社として、徳島市、周辺商業施設、観光施設、各種団体と連携しながら、アミコビルを核とした面的なまちづくりを進めていきたいと思っています。

(市長) 市としても空き店舗などの遊休(使われなままになっている)施設の有効活用策を考えています。

今ある資源を活用するリノベーションまちづくり事業として、講演会や市民参加型のワークショップなどを開催しました。今後も地域経済の活性化に向け、引き続き取り組んでまいります。

街を巡りたくなる“動線”づくり

(市長) 目的地で買い物をするだけでなく周辺にも立ち寄る動線を作ることも必要で、歩けるまちにしていきたいと考えています。

(鈴江) 回遊できるようなまちづくりには、人が集まるための活動も必要ですよね。

(長谷川) 中心市街地でボランティア活動をしています。新町川を周遊船で巡るひょうたん島クルーズは30年運航していますが、今でも活動の幅を広げています。



▲ひょうたん島クルーズ

市民の皆さんと一緒に地域に関わっていけるような参加型のボランティア活動の中から出てくる意見やアイデアを育て、利活用できるようになれば、まちをさらに盛り上げていけると思います。

(寺内) これから、まだまだ発展していく可能性があり、いろいろなアイデアを考えたら楽しいと思います。

(市長) 徳島市は138本もの川が流れる水都で、ひょうたん島クルーズはビッグコンテンツの一つです。

アスティとくしまでのコンサートに船で行く、まちなかから航路で鳴門までと、可能性は無限大だと思います。新町川で釣りやレジャーを楽しむ、花植えや川掃除のボランティアに参加するなど、市民の皆さんが興味を持ってくださることが、まちづくりの力になっていくと思います。

街に住みたくなる“空間”づくり

(堀田) まちづくりの講座に参加したとき、「寄ってたかって応援するまち」という言葉を聞きました。挑戦を応援する文化や土壌があるまちになれば、誰もが住みたくなると思います。

徳島市は仕事と生活の調和を図るためのワークライフバランス推進事業を実施されていますが、働き方・休み方が改善されることで、さまざまな人がまちづくりに参画し、人と人のつながりが生まれ、その絆がまちの特色になっていくと思います。

(長谷川) まちなかは道路や公園、川といった公共空間が充実しています。そこを楽しい場所にして価値を高めるのもいいと思います。

まちなかで花を植えたり、川をきれいにしたりするボランティア活動をしています。35年ぶりに徳島に戻ってきた人も道路にきれいな花が咲いているのに感動し、一緒に参加してくれています。こうした活動が入り口になり、広がってほしいと思います。

(市長) そうですね。ボランティア活動に参加することで自分がまちに貢献しているという意識が生まれ、シビックプライド(都市に対する市民の誇り)が醸成される、最終的には居住人口の増加につながっていく、そんな挑戦する人をみんなで応援して一緒にやっていこうというまちになってほしいと思います。

誇り)が醸成される、最終的には居住人口の増加につながっていく、そんな挑戦する人をみんなで応援して一緒にやっていこうというまちになってほしいと思います。

魅力と活力あふれるまちに向けて

(佐々木) 市内全域を考えた上で、中心市街地の役割を明確に示していくことが大切だと思います。

まちづくりを身近に感じられない人もいられるから、市民の皆さんに自分ごととして考えてもらえるように事業を展開し、意識を底上げしていくことが重要ではないかと思っています。

(長谷川) 中心市街地には、活気あふれる事業者やボランティアなどの協力者がたくさんいます。そういう人がどんどん活躍できるように、後押ししてもらえたらと思っています。

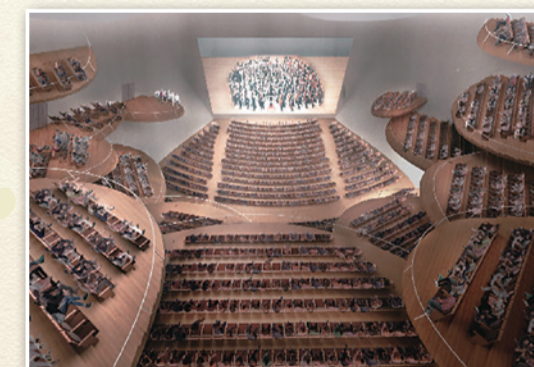
(堀田) まちづくりを進めるに当たって、コンパクトシティ(生活に必要な諸機能が近接している効率的で持続可能な都市)という考えもあると思います。まちを大きくするのではなく、深く関与したいという気持ちで集まった人たちをつないで、点から線、線から面を作っていく、私もその一翼を担えるように活動できたらと思います。

(寺内) 皆さんが気軽に寄り合うことができるまちづくり、子どもも大人も一緒に、花を植えたり、会話をしたり、食事でもできる広場のようなものがあればいいと思います。

立派な新ホールの建設も予定されており、まちはずっと明るくなっていくと思います。楽しみにいたしております。

(市長) 人と人がつながり新たな挑戦や投資が生まれるまち。これが今進めている中心市街地活性化基本計画のコンセプトとなっています。多様な人が集まってくることによって新しい創造性、イノベーション(新たな価値)が生まれると確信しています。

これから、新ホールの整備、新町西地区の新たなまちづくりも進んでいきます。コロナ禍で先のことかどうなるかわからない不安もある一方で、未来をみんなで考えて、新しく形作っていくきっかけにもなると思います。いろいろな人と一緒にこのまちを魅力的にしていきます。



▲新ホール内観イメージ



▲新ホール外観イメージ

◆対談動画はYouTube徳島市公式チャンネルで公開しています。

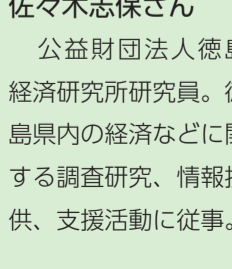


参加者のプロフィール

寺内カツコさん
徳島商工会議所会頭。行政や関係団体と連携を深め、さまざまな視点から地域活性化に向けて取り組む。



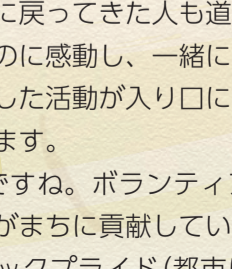
堀田大輔さん
一般社団法人徳島青年会議所 働く√まちづくり委員会委員長。社会全体で働くまちづくりを推進。



佐々木志保さん
公益財団法人徳島経済研究所研究員。徳島県内の経済などに関する調査研究、情報提供、支援活動に従事。



長谷川理彦さん
特定非営利活動法人 眉山大学理事長。新町川を守る会でのボランティア活動などを通して、まちづくりに尽力。



鈴江祥宏さん
徳島都市開発株式会社代表取締役社長。アミコビルの再生に向けた活動を通して、中心市街地の活性化に取り組む。

